

令和3年度 訪問看護出向事業報告会

出向元病院の立場から

2022.3.12

広島市民病院

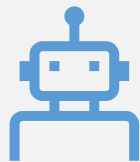
副院長（事）看護部長

長谷川 聡子

地域連携に
関する
職員研修の
現状



新人入職時4月



新人入職後2年目

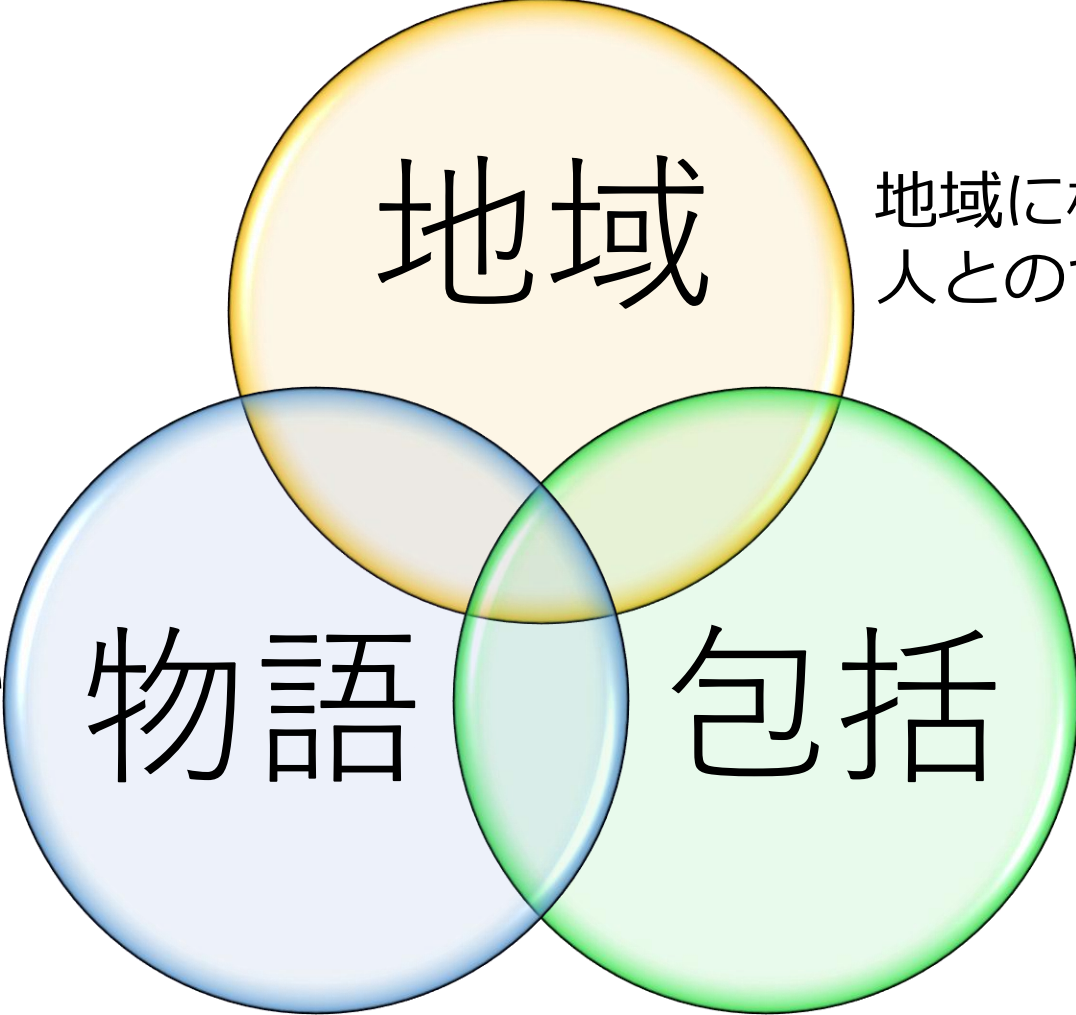


新主任昇任4月

研修目標

1. 地域における、自施設の役割と位置づけについて説明できる
2. 入退院支援システムとプロセスについて説明できる
3. 多職種との連携に必要な情報提供と情報授受を実践できる

地域連携の必要性



地域

地域に根差し
人とのつながり

物語

その人らしい
物語を尊重

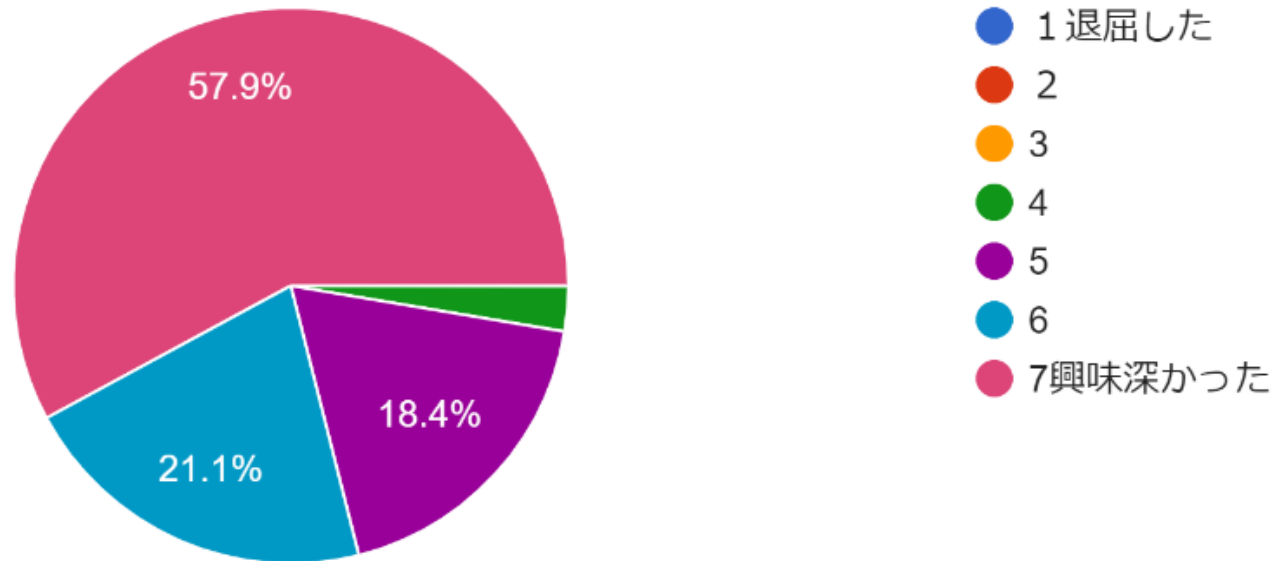
包括

生活者の視点
一体的に提供

研修後アンケート結果

1. この研修について、次の形容詞のどちらにどの...

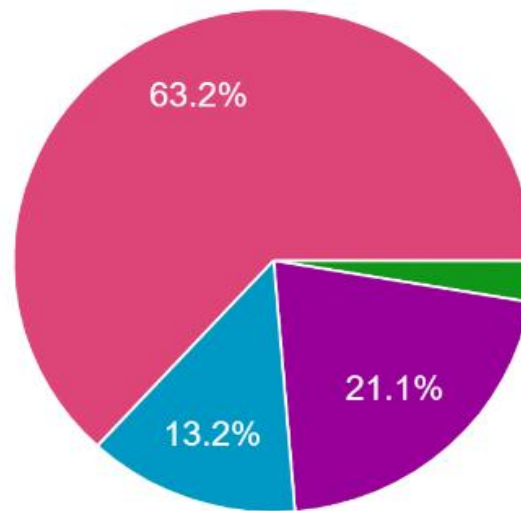
38 件の回答



研修後アンケート結果

1. この研修について、次の形容詞のどちらにどの...

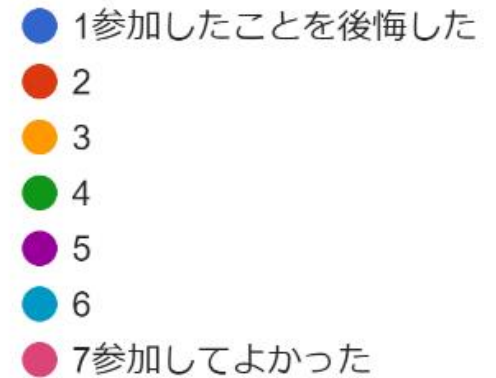
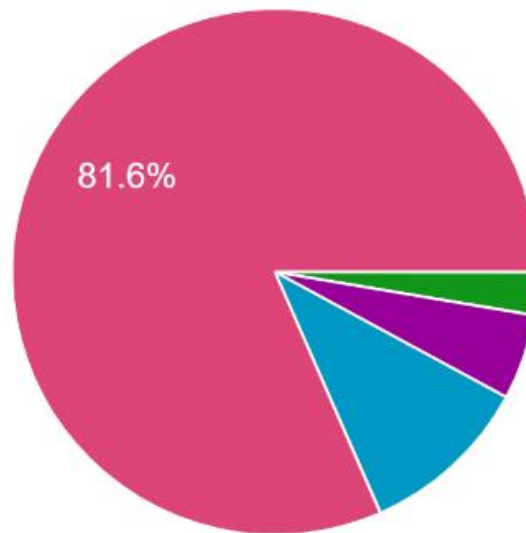
38件の回答



研修後アンケート結果

1. この研修について、次の形容詞のどちらにどの...

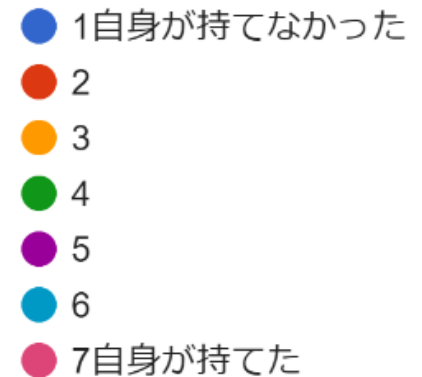
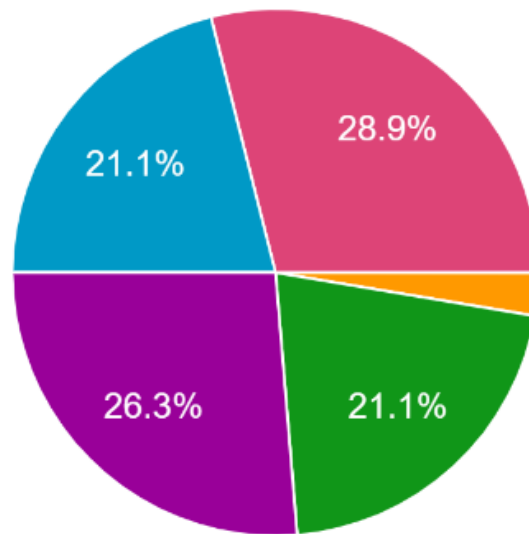
38 件の回答



研修後アンケート結果

1. この研修について、次の形容詞のどちらにどの...

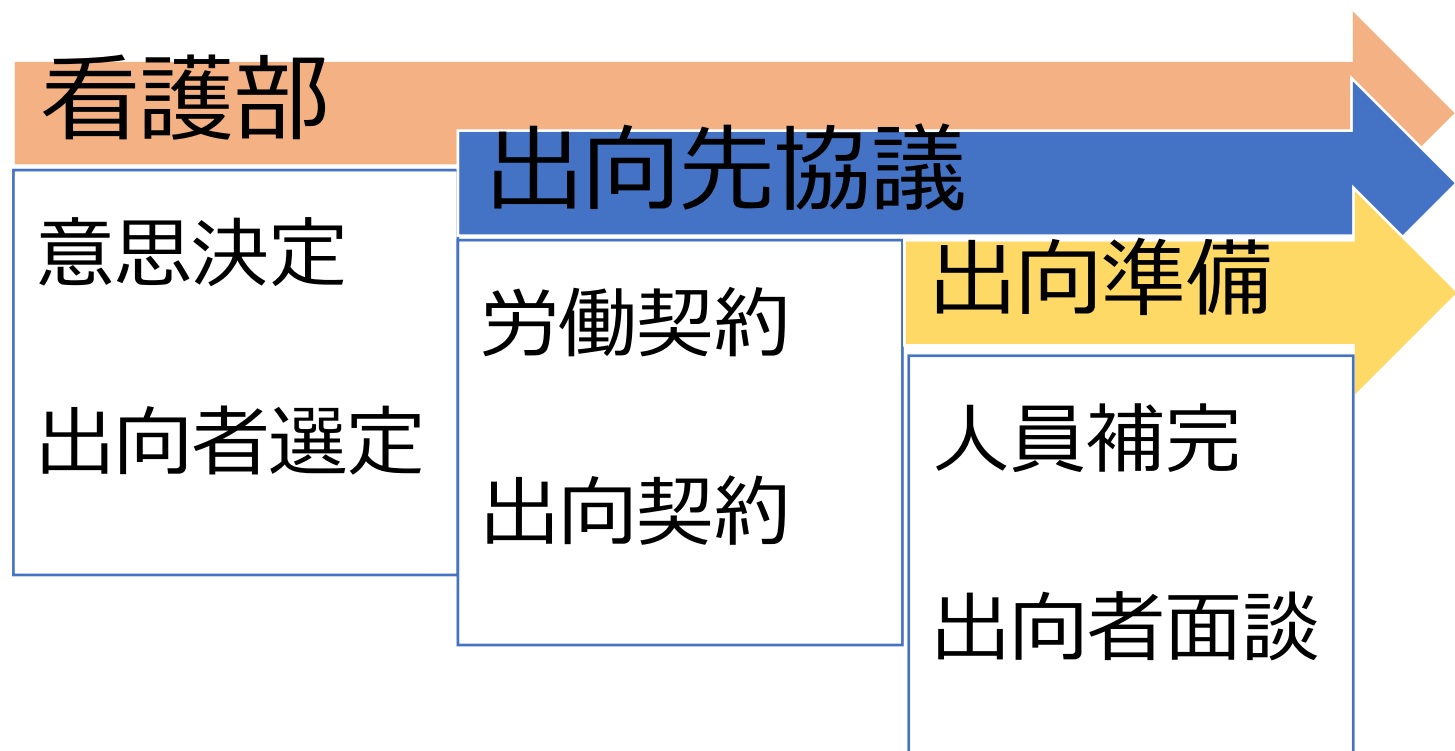
38 件の回答



出向事業への参加目的

- 短期間の研修参加で訪問看護のサービスや社会資源の活用など「学ぶ」ことはできた。
- 「学ぶ」だけでなく、実践を通し具体的なサービス、社会資源を活用し「気づく」こと。
- 「気づき」を自施設でどのように活かせるか「考える」こと。
- 「考えた」ことを行動に結びつけること。

出向事業へ参加準備



今後の課題

- 病院の看護部方針への理解と協力
- 派遣期間中の人材の補完
- 派遣職員の選定と研修後の活用